

アルコール検知器協議会  
2017年度(3年目)の  
活動内容について

J-BAC

**J**apan-**B**reath **A**lcohol testing **C**onsortium

# アルコール検知器協議会設立の目的と活動内容

## 第2条（目的）

本会は、アルコール検知器の技術や品質の向上、ならびにアルコール検知器の普及啓発によって業界の地位の向上を図る。

本会は、関係官庁、各団体との連携と会員相互の協調を通じて、アルコールの過剰摂取や短時間での大量摂取等に代表される飲酒問題の根絶に寄与することを目的とする。

本会は、営利を目的としない組織である。

## 第3条（活動）

本会は、前条の目的を達成するために、次の活動を行う。

- (1) アルコール検知器の利用と活用に係る普及および啓発。
- (2) アルコール検知器の技術・品質向上のための調査研究。
- (3) アルコール検知器および飲酒運転防止に関連する法令の周知および広報。
- (4) アルコール検知器に関連する行政機関との連絡、協議。
- (5) アルコール検知器や飲酒の専門知識を用いた道路交通安全の促進および普及。
- (6) アルコール検知技術や交通安全政策に関する国際交流。
- (7) アルコール健康障害対策基本法に関連する行政機関および各団体等との連携。
- (8) その他、会の目的を達成するために必要な活動。

# 会員企業(23社)

2017年4月24日時点

## 正会員

株式会社エスケイジャパン

エフアイエス株式会社

光明理化学工業株式会社

サンコーテクノ株式会社

新コスモス電機株式会社

株式会社タニタ

中央自動車工業株式会社

株式会社データ・テック

株式会社テックウエルインターナショナルジャパン

テレニシ株式会社

東海電子株式会社

株式会社東洋マーク製作所

ドコモ・システムズ株式会社

ドレーゲル・セイフティー ジャパン株式会社

株式会社ネモト・センサエンジニアリング

株式会社パーマンコーポレーション

株式会社パイ・アール

フィガロ技研株式会社

前野技研工業株式会社

株式会社 ヤナコ計測

## 準会員

株式会社メイエレック

株式会社篠原計器製作所

株式会社テレコム

# 発足期・2期目

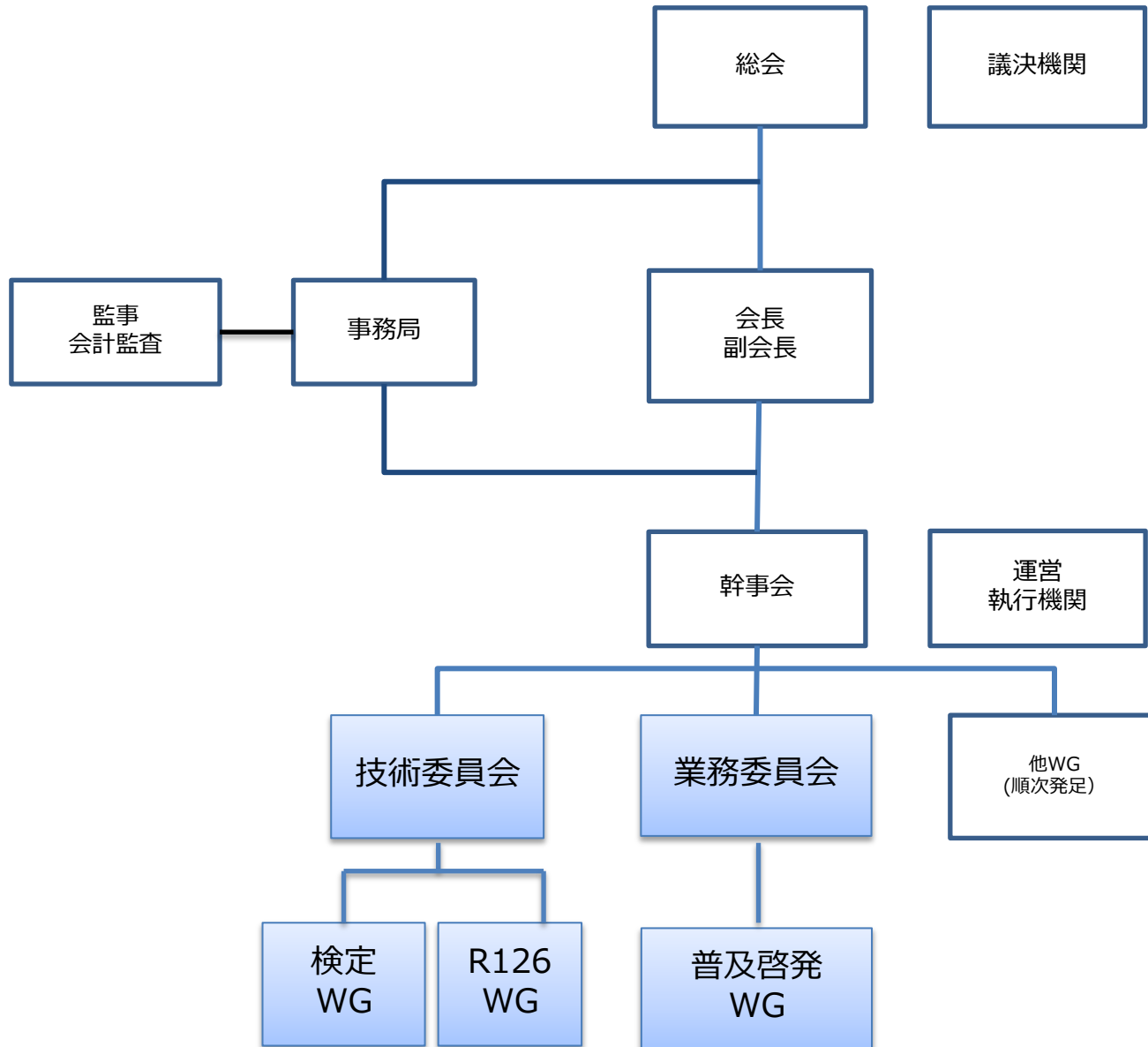
✓ 2015年度は、認知度を上げる活動（業界団体等）



✓ 2016年度は、自主検定策定、認定機器公表



# 2016年度の組織と機関



# 飲酒問題（飲酒運転）を取り巻く状況 2015年度-2016年度

2015年度  
(1-12月)

飲酒  
死亡事故 201件

飲酒事故 3,585件

飲酒運転検挙数 26,664件

2015年度  
(1-12月)

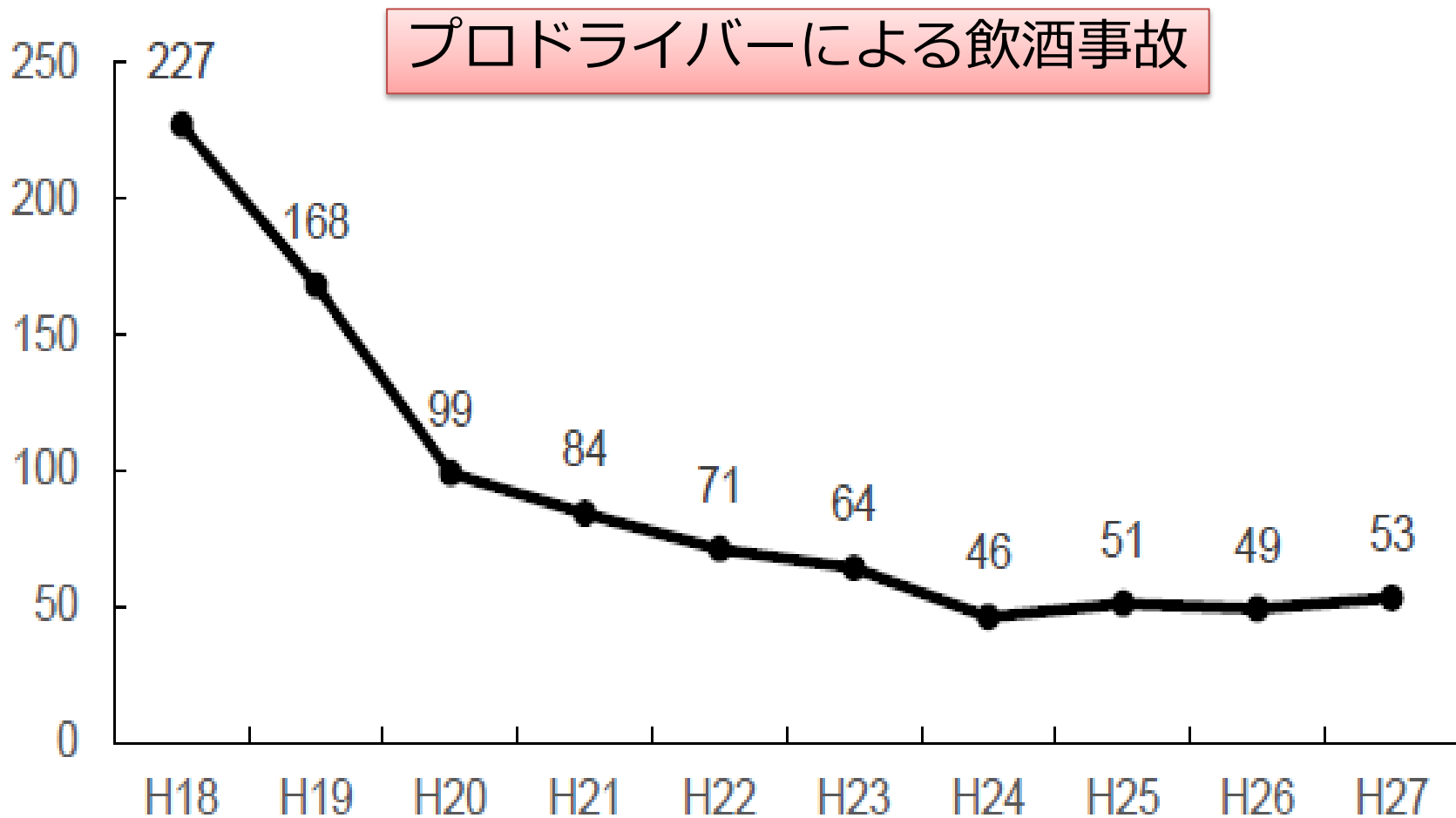
飲酒  
死亡事故 213件

飲酒事故 3,757件

飲酒運転検挙数 26,423件

飲酒運転（死亡事故・飲酒事故）は、下げまりから、前年比増へ

ついに、事業用自動車も。



# 第一号議案

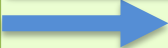
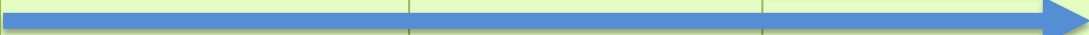
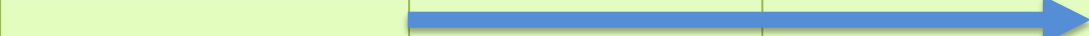

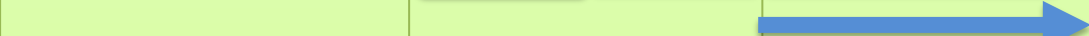
2017年度  
(2017.4-2018.3)  
単年度活動内容



# 活動予定（2015年6月23日 第1回総会資料）

活動内容	初年度	2年目	3年目	
	2015	2016	2017	
設立総会	→			
総会	→			
プレスリリース	→			
WGの立ち上げ	→			
各業界団体への認知活動	→			
現行法令の整理	→			
HPの制作	→			
啓発資料の拡充	→			
性能要件（自主基準）	→			
プラン2009への協力提言	→			
目的別 検知器選定ガイドライン	→			
飲酒運転防止条例の研究		→		
検知器を使った独自の教育プログラム		→		
T2016への参加、他国調査		→		
飲酒運転違反者 対策の研究		→		
OIML R126 WGとの情報共有		→		
飲酒運転防止シンポジウム開催			→	

# 2年目活動実績と、3年目の目標

活動内容	初年度	2年目	3年目
	2015	2016	2017
設立総会	4月8日		
総会	第1回 6月23日	第2回 4月28日	第3回 4月24日
プレスリリース			プレス 投稿
WGの立ち上げ	普及啓発WG、検定化WG	普及啓発WG 検定WG、R126WG	ウェブサイト 拡充
各業界団体への認知活動	国交省、トラ協、バス協会 NASVA、ASK訪問	バス協展示、NASVA展示	安管協 トラ協全県
現行法令の整理		文書作成中	法令集 ウェブサイト化
HPの制作	会員企業	自主検定内容公開 検定合格品リスト化	外部検定公表サイト準備 他技術資料拡充
啓発資料の拡充	協議会の広報チラシ	自主検定制度の広報 認定機器の広報	
性能要件(自主基準)	J-BACマーク制度(草案)	自主検定 6社14機種 第三者機関版策定作業	第三者機関版文書完成 第三者機関契約
プラン2009への協力提言		IT点呼 パブコメ提出	検知器業界からの 情報提供
目的別 検知器選定ガイドライン			
飲酒運転防止条例の研究			
検知器を使った独自の教育プログラム			協議会版 インストラクターリスト
T2016への参加、他国調査		T2016ブラジル 光明様参加	T20XX立候補の可能性調査
飲酒運転違反者 対策の研究			
OIML R126 WGとの情報共有		ベルリン報 告	経産省 呼気分科会
飲酒運転防止シンポジウム開催			経産省呼気分科会へ 検知器実機レクチャー
			

# 2017年活動方針

1. ウェブサイトの拡充  
(非対面活動・情報のストック化)
2. トラ協、安管協へ、あらためて  
(対面活動・教育活動のアピール)
3. 自主検定から外部機関検定へ

# 1. ウェブサイトの拡充 (非対面活動・情報発信)

# アルコール検知（認定機器・技術等）のことなら

検索      アルコール検知器



**アルコール検知器協議会**  
JAPAN BREATH ALCOHOL TESTING CONSORTIUM

[協議会概要](#) | [会員団体](#) | [認定機器](#) | [入会案内](#) | [問合せフォーム](#) | [Q&A](#) | [会員専用](#)

アルコール検知器の品質向上と普及を通して、飲酒運転根絶と健康管理を提唱。  
**「アルコール検知器協議会」発足**



このたび、国や運輸業界から強い要請を受け、アルコール検知器の製造・販売に携わる17社によって、平成27年4月8日に「アルコール検知器協議会」が発足しました。  
飲酒運転による死傷事故が大きな社会問題になる中、過度な飲酒による健康障害も深刻化し、アルコール検知器の役割がますます重要なものになりつつある今日、その技術・品質の向上とともに、飲酒問題への対処・防止に対する正しい知識を啓発してまいります。

**「アルコール検知器協議会」とは**

- 団体名／アルコール検知器協議会
- 英文名／Japan Breath Alcohol Testing Consortium (略称／J-BAC)

設立の目的	活動内容
<ul style="list-style-type: none"><li>●アルコール検知器の技術、品質の向上</li><li>●アルコール検知器の普及啓発、地位向上</li><li>●大量採取等による飲酒問題の根絶</li><li>●自動車等の飲酒運転の根絶 等</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●検知器の利用と活用に拘わる普及と啓発</li><li>●検知器の技術・品質向上のための調査研究</li><li>●飲酒運転防止に関連する法令の周知・広報</li><li>●専門知識を用いた交通安全の促進・普及 等</li></ul>

**国土交通省をはじめとした各省庁や関連機関・団体と連携**  
しながら、皆様のお役に立てる活動を実践・継続してまいります。

**アルコール検知器協議会**  
JAPAN BREATH ALCOHOL TESTING CONSORTIUM

## お知らせ

2016年11月3日  
メンバーリスト更新しました<会員専用>

2016年10月20日  
「第11回NASVA安全マネジメントセミナー」に出展しました

RSS

# 業界ならではの情報提供

## 例：検知器の産業構造・市場規模とは？

JAMA 一般社団法人 日本自動車工業会

infoDRIVE

検索

自工会について リリース・会見 日本の自動車産業 ライブラリー

### 日本の自動車産業

- 自動車産業**  
日本の自動車関連産業・就業人口、資材・設備投資、製造品出荷額、貿易額等の情報。
- 四輪車**  
四輪車の生産・販売・保有率・輸出等の最新データ。
- 二輪車**  
二輪車の生産・販売・保有率・輸出等の最新データ。
- 日本の自動車メーカー等**  
日本の自動車メーカー等各社情報および、日本の自動車工場分布図。

自動車工業会ウェブサイト  
＜日本の自動車産業＞より  
<http://www.jama.or.jp/industry/index.html>

業界としての情報を集約し・公開することで信頼を得、  
「要望・提言」ができるよう、目指す。

(根拠や情報も出さずに、補助金や規制強化を訴えても説得力がない)

### 成長戦略の強化に向けた 平成29年度税制改正共同要望

平成28年11月

一般社団法人	電子情報技術産業協会	会長	東原敏昭
一般社団法人	日本化学工業協会	会長	石飛修
一般社団法人	日本機械工業連合会	会長	岡村正
一般社団法人	日本自動車工業会	会長	西川廣人
一般社団法人	日本造船工業会	会長	村山滋
一般社団法人	日本鉄鋼連盟	会長	進藤孝生
一般社団法人	日本電機工業会	会長	志賀重範
石油化学工業協会		会長	淡輪敏
日本製紙連合会		会長	馬城文雄

2. トラ協、安管協へ、あらためて  
(機器ではなく、教育面、アピール)

# 認定機器アピール以外で、できること

(ところで、何をしてくれるのですか？ へどう応えるか?)

The screenshot shows the website of the Japan Alcohol Testing Association (J-BAC). The header includes the J-BAC logo and navigation links for Home, Member List, About, Membership, Certified Equipment, Inquiries, Joint Forum, Q&A, and Member Only. The main content area is titled '会員団体' (Member Organizations) and lists 21 member companies as of August 13, 2016. Each company entry includes a small image, the company name, a brief description of their business, and a link to their website.

会員団体一覧(21社) 2016年8月13日現在

- 株式会社エスケイジャパン**  
弊社はキャラクターグッズの企画から製造、販売(卸売)までを幅広いチャネルで行っている事業を主体としております。この度、ガスセンサーの開発専門メーカーであるエフアイエス様と共同で独自のアルコールチェッカー…  
[詳しくはこちら](#)
- エフアイエス株式会社**  
エフアイエスのガスセンサーは、さまざまな分野で数多くの製品に搭載されています。お客様のニーズに合わせて製品開発や応用回路の拡張、柔軟な応用ソフトウェアも可能です。現在は、一酸化炭素中毒…  
[詳しくはこちら](#)
- 光明理化学工業株式会社**  
測定機器・警報機器の製造販売。当社の製品をご愛用いただいている業種は、官公庁、エネルギー、造船、運輸、電気など多種多様にわたり、世界に広がっています。光明理化学工業株式会社  
[詳しくはこちら](#)
- サンコーテクノ株式会社**  
サンコーテクノの、“人のお役に立つ”ことを喜びとする精神は、創業以来、私たちサンコーテクノが守り続けてきた企業理念です。アルコールを測定するだけでなく、点呼における一元管理を目指した様々なシステム…  
[詳しくはこちら](#)
- 株式会社篠原計器製作所**  
弊社は実績のある電気計器専門メーカーです。アルコールチェッカーは(株)篠原計器製作所が作り上げた信頼の国産品です。高機能電気計器製造・販売も行っております。  
<http://www.shinohara.com>  
[詳しくはこちら](#)
- 株式会社タニタ**  
健康総合企業のタニタは、金銭・運動・休養のベストバランスの提案を通して、24時間監視の健康づくりをサポートしています。  
<http://www.tanita.co.jp/content/>  
[詳しくはこちら](#)
- 中央自動車工業株式会社**  
自動車部品・用品および新商品ならびに関連サービスの開発・販売、輸出入を主な事業内容とし、世界60箇国にビジネスネットワークを展開しておりますが、自動車業界に身を置く者の義務として、交通事故を1件…  
[詳しくはこちら](#)
- 株式会社データ・テック**  
株式会社データ・テックはデジタルドライバーコーダの開発・製造から販売までを行うデジタルメーカーです。デジタルの運行データと点呼を連携し、運送業・輸送業での業務効率アップのお手伝いを致…  
[詳しくはこちら](#)

検知器協議会が派遣できる講師  
(インストラクター)



# 認定機器以外で、できることを ウェブサイトでアピール

## 飲酒運転防止インストラクター



飲酒運転防止インストラクター資格を持った専門員を講演会、安全啓蒙活動開催時に派遣します。

## アルコール検知器の出展展示



交通安全大会、交通フェスティバルなど各種イベントでアルコール検知器を展示しませんか。

## 安全運転管理者講習での講演



安全運転管理者講習会の講演を承ります。  
(一部の地域では実績あり)

北海道	(社)北海道安全運転管理者協会
青森県	(社)青森県安全運転管理者協会
岩手県	岩手県安全運転管理者部会連合会
宮城県	(社)宮城県安全運転管理者協会
秋田県	秋田県安全運転管理者協会
山形県	山形県安全運転管理者協議会連合会
福島県	(社)福島県安全運転管理者協会
茨城県	(社)茨城県安全運転管理者協議会
栃木県	(社)栃木県安全運転管理者協議会
群馬県	(社)群馬県安全運転管理者協議会
埼玉県	(社)埼玉県安全運転管理者協会
千葉県	(社)千葉県安全運転管理協会
東京都	東京安全運転管理者部会連合協議会
神奈川県	(社)神奈川県安全運転管理者連合会
新潟県	(社)新潟県安全運転管理者協会
富山県	富山県安全運転管理者連絡協議会
石川県	(社)石川県安全運転管理者協議会連合会
福井県	福井県安全運転管理者協議会連合会
山梨県	(社)山梨県安全運転管理者協議会
長野県	(社)長野県安全運転管理者協会
岐阜県	岐阜県安全運転管理部会連合会
静岡県	(社)静岡県安全運転管理協会
愛知県	(社)愛知県安全運転管理協議会

三重県	(社)三重県安全運転管理協議会
滋賀県	(社)滋賀県安全運転管理者協会
京都府	京都府安全運転管理委員会
大阪府	大阪府安全運転管理者連絡協議会
兵庫県	兵庫県安全運転管理者部会連絡協議会
奈良県	一般社団法人 奈良県安全運転管理者協会
和歌山県	和歌山県安全運転管理委員会
鳥取県	鳥取県安全運転運行管理者協議会連合会
島根県	(社)島根県安全運転管理者協会
岡山県	岡山県安全運転管理者協議会連合会
広島県	(社)広島県安全運転管理協議会
山口県	(社)山口県安全運転管理者協議会
徳島県	(社)徳島県安全運転管理協会
香川県	香川県安全運転管理連絡協議会
愛媛県	愛媛県安全運転管理者連絡協議会
高知県	(社)高知県安全運転管理者協議会連合会
福岡県	福岡県安全運転管理協議会
佐賀県	佐賀県安全運転管理者協議会
長崎県	長崎県安全運転管理協議会
熊本県	一般社団法人 熊本県安全運転管理者等協議会
大分県	一般社団法人 大分県安全運転管理協議会
宮崎県	宮崎県安全運転管理者等協議会
鹿児島県	(社)鹿児島県安全運転管理協議会
沖縄県	(財)沖縄県交通安全協会 (沖縄県安全運転管理委員会)

### 3. 自主検定から外部機関検定へ

# 自主検定 (P9 外部機関移行について)



アルコール検知器の検定制度  
(通称 J-BAC マーク制度)

(草案)

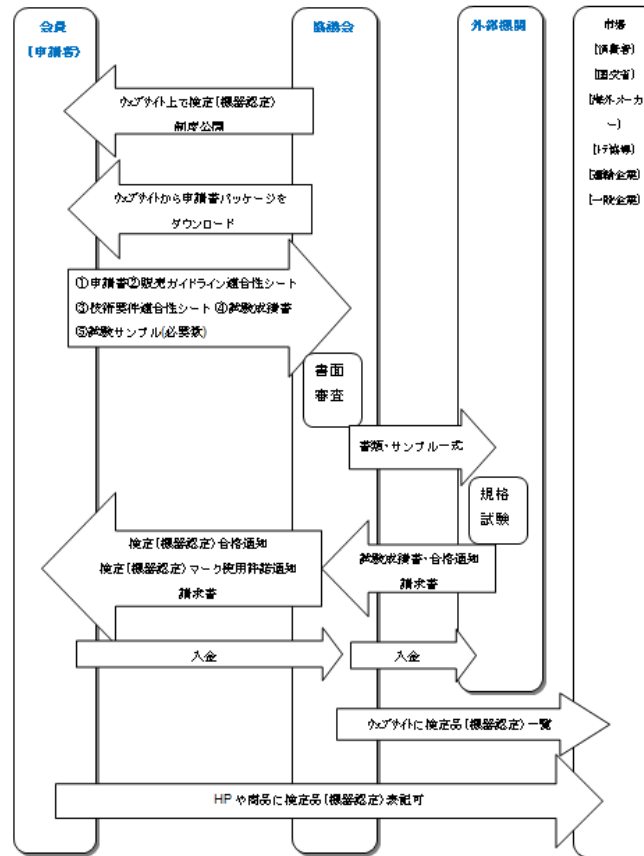
アルコール検知器 協議会

2016年1月8日 初版

2)PH-2 外部機関に運営を委託した場合の検定(将来イメージ)

移行後の運営構想については、以下2案を想定している。

A案)外部機関が「技術規格審査」部分を運営(受託)する



自主検定草案に記載されているPH-2の確立を引き続き推進する。

# 外部機関検定に関する活動予定

JB00001-2017

アルコール検知器の検定制度



アルコール検知器協議会  
Japan Breath Alcohol  
Testing Consortium

EN15964	EN16280	J-BAC自主検定
まえがき	まえがき	
はじめに	はじめに	
1 適用範囲	1 適用範囲	
2 引用規格	2 引用規格	
3 用語及び定義	3 用語及び定義	3. 用語および定義
4 型式試験	4 型式試験	
5 安全性	5 安全性	
5.1 一般的注釈	5.1 一般的注釈	
5.2 衛生	5.2 衛生	
5.3 電気的安全性	5.3 電気的安全性	
6 一般仕様	6 一般仕様	
6.1 一般要件	6.1 一般要件	
6.2 最大許容誤差(MPE)	6.2 最大許容誤差(MPE)	4.3 最大許容誤差(MPE)
6.3 測定範囲	6.3 測定範囲	4.1 測定範囲
6.4 動作環境条件	6.4 動作環境条件	4.4 定格製品仕様
6.4.1 温度		
6.4.2 湿度		
6.5 使いやすさ	6.5 使いやすさ	
6.6 呼気試料採取方法	6.6 呼気試料採取方法	
6.7 結果の表示	6.7 結果の表示	4.5 測定結果の表示
6.7.1 測定単位		
6.7.2 丸め方		4.2 目量

外部機関 選定のための評価項目検討表					
		略称	JIA	JATA	CERI
I	プロ フ イ ー ル	属性	一般財団法人	公益財団法人	一般財団法人
		団体名	日本カス機器検査協会	日本自動車輸送技術協会	化学物質評価研究機構
		所在地(本部)	東京都港区赤坂	東京都新宿区四谷	埼玉県北葛飾郡杉戸
		所在地(指定試験場)	東京都板橋区	東京都昭島市	埼玉県北葛飾郡杉戸
		ISO17025	認定事業所あり	なし	認定事業所あり
		ISO17025認定範囲	機械・物理試験	なし	化学試験
		ISO17025認定範囲	JIS S2147 漏れ試験・耐圧試験・流量試験・ 燃焼試験・着火性試験・製品試験		IEC 62321 発光分光分析・原子吸光分析 質量分析Ⅱ
		アルコール検知器評価実績	なし	なし	アリ
		その他		国土交通省 安全政策 課長紹介	経済産業省 計量行政室 OIMLR126呼気試験機 分科会会長

1. 候補機関から、概算見積取得済み。決定および詳細見積フェーズへ。
2. 金額決定 = 詳細規格決定、検定制度のスタート宣言を目指す（申請者有無とは関係なく）

その他、中期目標の実現

# 経済産業省との連携 (計量機器連合会・R126呼気試験器分科会)

事前に各委員へ同作業草案を配信し、同作業草案への意見を募った。この意見を基に、幹事国への回答について議論した。

国際会議（6月30日～7月1日）への出席は、今回は見送ることとした。

アルコール検知器協議会が2015年4月8日に発足し、活動を開始した旨の報告が行われた。

2015年1月23日に道路交通法施行令の一部が改正され、呼気中のアルコールを検査するために、アルコール検知器を用いることが可能になったことを、事前に事務局から各委員に連絡し、情報を共有した。

## 2) 第2回呼気試験器分科会

日時：2016年1月21日（木）13時45分～16時

会場：グランドヒル市ヶ谷

議題：①R126「証拠用呼気アルコール分析計」第1次委員会草案（1CD）について

②国際会議（ドイツ・ベルリン）について

審議事項：

第1次作業草案への日本提出意見の反映状況の確認を行った。事前に各委員へ同作業草案を配信し、同作業草案への意見を募った。この意見を基に、幹事国への回答について議論した。回答期限が、2016年4月6日に延期になったため、今回の議論及び国際会議（2月23日～2月24日）を踏まえて書面審議を行い、回答を作成することになった。

TC17/SC7「呼気試験機」国際会議の審議内容は、議事録等では十分に把握することは難しい状況であり、会議への出席は重要である。本分科会から、国際会議への初の出席であることから、情報収集を第一の目的とすることを確認した。

## ③ 検討した国際勧告案

1) R126「証拠用呼気アルコール分析計」第1部：計量及び技術要件 第2部：計量管理及び性能試験 第3部：試験報告書の様式 第1次作業草案（1WD）

本国際勧告は、1998年版を改正するために、長期間にわたり審議を繰り返してきたが、加盟国の意見が一致することはなかった。しかし1998年版から10年以上も経過していることから、2012年開催の第47回 CIML 委員会において、加盟国の意見が一致されていないことを認めた上で、最終国際勧告案（FDR）の発行及び改訂作業の継続が合意された。

第1次作業草案は、2012年版から大幅な変更を必要とする内容になっていた。事前に各委員へ同作業草案を配信し、同作業草案への意見を募った。この意見を基に、幹事国への回答について議論した。機能の保護に対する基本理念が一貫していないこと、標準ガスを供給する装置に対する要求事項に一貫性がないこと、本文と附属書で内容の整合性が取れていないこと及び記載内容、文言の意味が不明確なこと等13項目について、コメント及び提案をした。その結果、「上部気道中のアルコールの存在の検知機能」に関しては、日本がこの機能は任意とすべきという主旨の提案をしたのに対して、既に2013年10月に会議に出席したPメンバーの

2015年度に、協議会発足の報告を行った。  
R126の改版に対し、日本のコメントをとりま  
まとめている。

最近わかってきたのは、産総研、JQA、CERI  
等、計量行政の専門科はいるが、じつは  
アルコール検知器を見たことがない。

→次回、協議会として、検知器や校正の概略を  
実機レベルでレクチャーする必要アリ。  
(来年度、提案予定)

## (6) アルコール検知技術や交通安全政策に関する国際交流

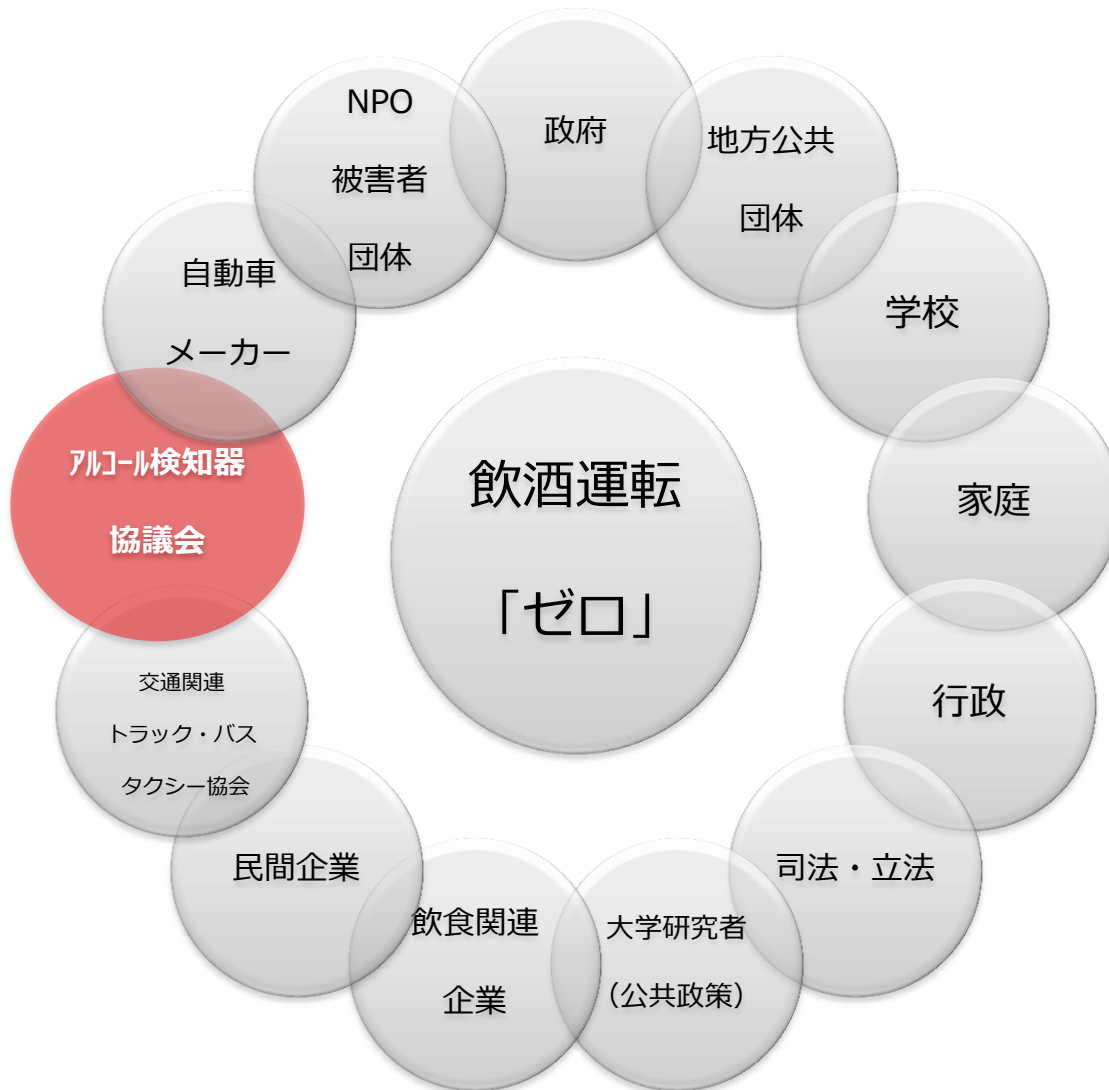
### ○ I C A D T S (International Council on Alcohol, Drugs and Traffic Safety)

I C A D T Sにおいて、日本の飲酒運転防止の取り組みや、アルコール検知器の高度な利用方法を紹介し、かつ、他国の飲酒運転防止施策の最新の情報を得、会員や関係各省庁に展開する。



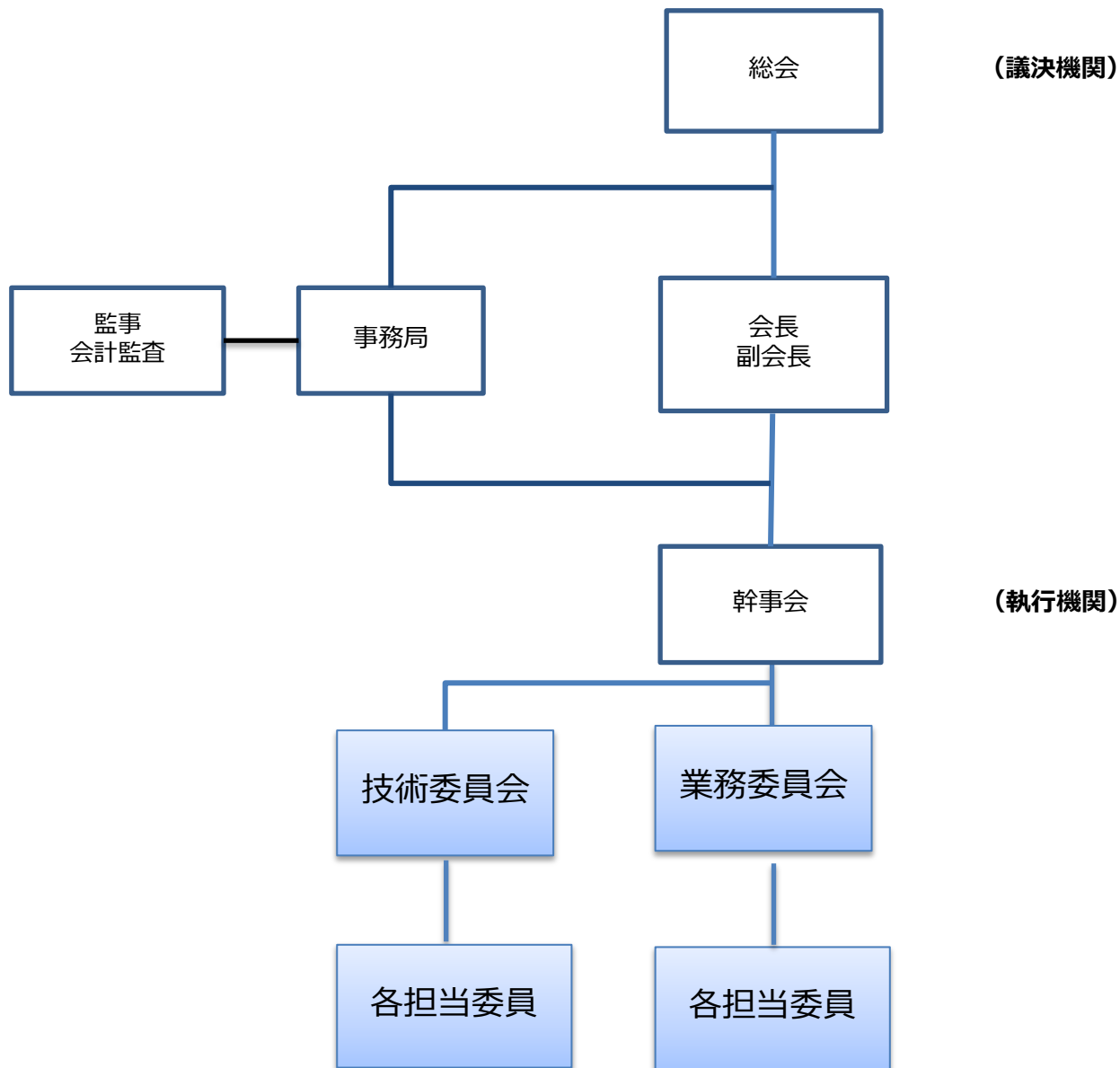


# (7) アルコール健康障害対策基本法に関連する 行政機関および各団体等との連携



# 第二号議案 2017年単年度予算

# 2017年度の組織と機関



# 2017年度 各委員、各WGの役割

会則 第3条 (活動内容)	業務委員会	技術委員会
(1) アルコール検知器の利用と活用に係る普及および啓発。	○	
(2) アルコール検知器の技術・品質向上のための調査研究。		○
(3) アルコール検知器および飲酒運転防止に関連する法令の周知および広報。	○	
(4) アルコール検知器に関連する行政機関との連絡、協議。	○	○
(5) アルコール検知器や飲酒の専門知識を用いた道路交通安全の促進および普及。	○	
(6) アルコール検知技術や交通安全政策に関する国際交流。	○	○
(7) アルコール健康障害対策基本法に関連する行政機関および各団体等との連携。	○	
(8) その他、会の目的を達成するために必要な活動。	○	○

# 2017年度の年間行事予定

	目的	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2017年度総会	年間報告と決議事項	○											
技術委員会	常設・定例会	○		○	○		○		○		○		
業務委員会	常設・定例会	○		○	○		○		○		○		
各委員 個別不定期活動		随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時
全体会合	・認定状況の報告 ・課題共有 ・その他最新情報共有						上期 成果 報告						
2018年度 入退会と口数変更	2017年12月に告知 2018年度予算編成準備									募集	→	締切	
全体会合 下期	年間報告 2018年度予算案										成果 報告 と次 年度		
参考：アルコール検知や飲酒問題を取り巻く社会環境・行政や団体の動き													
2016年度 国交省	事故防止対策支援 推進事業			○	○								
2017年度 国交省予算	事故防止対策支援 推進事業 概算要求				○	○	○						
県トラック協会	検知器への助成金		○	○									
プラン2009 FUP	検知器義務化の その後の対策有無												
アルコール健康 障害対策基本法	飲酒運転防止WG アルコール関連問題啓発週間								啓発 週間				

# 2017年度(2017年4月～2018年3月) 単年度予算 (案)

活動内容	予算執行 主幹	科目	予算	2017年度			
				4 - 6月	7 - 9月	10-12月	1 - 3月
第3回総会	事務局		<b>10万円</b>	10万			
HPの拡充 (全般)	業務委員		<b>30万円</b>		10万	10万	10万
J広報活動 (広告物印刷)	業務委員		<b>20万円</b>		10万	10万	
交通安全関連団体への認知活動 (展示会等)	業務委員		<b>30万円</b>		15万	15万	
会員名刺制作費	業務委員		<b>3万円</b>	3万			
技術調査 (規格調査・翻訳・外部機関検定準備)	技術委員		<b>40万円</b>	10万	10万	10万	10万